

【团体支援寄附】

—全8事業（7団体）—

特定非営利活動法人 グリーンスポーツ奈良

奈良市青山七丁目98番地

【事業名】

「生ごみを捨てない暮らしを奈良の文化に」ーダンボールコンポストで生ごみを有機肥料に変え活用

【補助金額】

190,000円

補助事業の実施内容

■『生ごみをリサイクルするダンボールコンポストのつくり方講習会』の開催

CO2排出による地球温暖化が問題となっています。循環型エコ社会づくりの一つとして、焼却される生ごみを各家庭において、簡単に低コストで有機肥料に変える(リサイクルする)「ダンボールコンポストのつくり方講習会」を計17回開催しました。

また、イベントブースへの出展(8回)、子どものごころより環境を大切にする心の醸成を願い、奈良市内小学校4年生教室に向いての「環境出前講座」(8校18クラス)を実施しました。

今後の活動に向けて

奈良市・斑鳩町では、ダンボールコンポスト購入者補助制度により、ごみの減量に取り組んで頂いています。来期はダンボールコンポストからできた有機肥料を活用して菜園講座を計画中です。今後も他市町村への働きかけを行って、生ごみリサイクル活動に取り組んでいきます。

また小学校への「環境出前講座」は奈良市と連携をとりながら、今後も実施する方向で計画しています。



▲ ダンボールコンポストのつくり方講習会

特定非営利活動法人 環境市民ネットワーク天理

天理市丹波市町451

【事業名】

水と緑のネットワーク2019

【補助金額】

190,000円

補助事業の実施内容

①里山体験(ブルーベリー摘み)22名参加。

前年の落葉を肥料化して育った、大きなブルーベリーを摘みました。布留川の源流の一つである「仁興川」上流の山間から湧き出ている水源を見学し、里山の素晴らしさ、大切さを実感していただきました。

②落葉かき94名(大人90名、こども4名)参加。

布留川沿いの親里大路や中大路で、イチョウとケヤキの落葉を集めました。3tダンブ車1台+軽四トラック1台分が集まりました。「木の子村」の畑に落葉を混ぜ込み、肥料として再利用しました。参加者や近隣住民に街路樹の素晴らしさを知っていただき、自分たちでも落葉管理する必要があることを理解していただけたと思います。

③ 里山体験(椎茸の植菌)

「新型コロナウイルス感染症対策」で急遽中止。

④ PR用映像の作成

「布留川とその水源の森・里山」の美しさ・大切さを

PRする内容を、映像作家の保山耕一氏に「映像詩・天理」として作成いただきました。

今後の活動に向けて

開催出来なかった「里山体験(椎茸の植菌)」は令和2年11月に開催を予定しています。また、PR用の映像は新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いた段階で、総会等様々な機会に上映し、「布留川とその水源の森・里山」の美しさ・大切さを感じてもらうため、有効利用していきます。「落葉かき」は、市民の手で街路樹を守り続けることを理解していただけるよう、今後より多くの方に参加いただきたいと考えています。同時に石上神宮北側に住む日本リスを街なかへ遊びにさせる「緑の回廊プロジェクト」も進めています。



▲ 「落葉かき」のようす

やまと郡山環境を良くする市民の会

大和郡山市小泉町645-88

【事業名】

「古道七曲道」ベンチ・案内板の設置

【補助金額】

190,000円

補助事業の実施内容

古道七曲道沿いに設けていた手製の休憩用椅子が腐り、利用できなくなっていたので、新たに長椅子2個1組を3か所に設置しました。

また、古道利用者に向けた注意事項や案内を記載した案内板も3か所に設置しました。

今後の活動に向けて

「古道七曲道」の整備作業は、平成24年から続けています。初年度は、廃道同然の道であったため、「歩きやすい道」に整備しました。平成25年度からは、「歩きたくなる道」へと整備しています。

今後も、毎月の草刈りや排水路の整備、植樹の手入れなどの整備作業を行っていきます。また、土の層が浅く乾燥しやすいことやイノシシの被害が理由で、これまで植樹しても、根付かず枯れてしまった樹木もあり、その補充の意味も兼ねて植樹を並行して行っていきたいと思っています。



▲ R2.3.19「七曲道」椅子設置

NPO法人 飛鳥トレッキングガイドサービス

高市郡明日香村大字細川670番地の1

【事業名】

トレッキングで出会いを!

【補助金額】

190,000円

補助事業の実施内容

自然の中でのトレッキングを通じた婚活イベントを開催し、参加者に出会いの場を提供することを目的として当該事業を実施しました。イベントには計40名の男女が参加し、4組のカップルが成立しました。

参加者たちは自然の中での会話を笑顔で楽しんでいました。参加者からは、「屋内の短時間のイベントと違い、全員の異性との会話時間も長く、同性とも話げできました」「普段行くことができない山にも登れ、自然解説等ガイドからの説明もあり、楽しいイベントでした」と感想を言っていました。

今後の活動に向けて

平成27年の秋から婚活トレッキングを開催しています。現在6組から結婚の連絡をいただき、また子どもの出産報告の連絡を2組からいただいています。

実施している婚活イベントでは、トレッキングという同じ趣味の男女が参加することで、会話が弾み、後日に連絡を取り合う機会も増えます。参加者同士でトレッキングのサークルを立上げ、活動をする方もおられます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの開催が出来ていませんが、感染症が収束すれば、屋外の自然の中で実施するイベントの特徴を生かして、参加者の男女が安心して継続的に参加できる婚活のイベントづくりを目指したいと考えています。



▲ 婚活トレッキング(山頂での参加者の昼食風景)

特定非営利活動法人 日本サービスドッグ協会

葛城市新村210

【事業名】

- ①引退補助犬支援活動の啓発事業(会報 57 号 作成)
- ②引退補助犬支援活動の啓発事業(会報 58 号 印刷)、引退補助犬支援事業(ペットシート購入)

【補助金額】

- ①19,000円
- ②88,350円

補助事業の実施内容

引退補助犬支援活動の支援事業としてペットシートを購入し、引退犬ボランティアさんに支援しました。

また啓発事業として会報 57 号と 58 号を作成し、配布しました。多くの方に当協会の活動や引退補助犬について知っていただき協力を募ることが出来ました。

今後の活動に向けて

新型コロナウイルス禍で、なかなか募金や啓発活動もできませんが、引退補助犬支援資金調達をしながら医療費・介護用品支援の充実を図っていきたいと思います。



▲ 会報等の発送作業を行いました

特定非営利活動法人 市民活動サークルえん

生駒市元町1丁目9-17
ホリデビル2階

【事業名】

日常生活に簡単プラスから始める防災

【補助金額】

190,000円

補助事業の実施内容

- ・防災マルシェ2019in生駒(生駒駅前ベルステージ)
備えておきたい緊急物資の例や身近なものの活用術などをゲーム感覚で学んだり、実際にグッズを手にとって試したりするイベントを開催しました。
防災に関心のある方だけでなく、通りすがりの方もたくさん参加していただき、防災ゲームや防災クラフト、非常食の試食、子ども用防災グッズの展示販売、防災アプリ体験、非常持ち出しグッズ展示、防災関連誌の販売など多彩なブースを楽しんでいただきました。
また、スピンアウト企画として、開催当日1週間前から同会場併設の図書館にて、防災関連ポスターの展示および資料配架を実施しました。図書館利用者へのアプローチも行いました。
- ・防災リアル脱出ゲーム(当法人事務所～コミュニティセンター間)
災害時を想定した様々なミッションをクリアしながら避難所を目指す体験ゲームを開催しました。

室内で大地震が起こった際の行動、避難時に持ち出す物品、ビルの3階から外へ避難する場合のルート、ガレキの下敷きになっている人の救助・運搬、負傷者への応急手当、街中にある消火器の場所の把握と使い方、災害時伝言ダイヤルの活用方法を各ポイントでミッションとして出題しました。

今後の活動に向けて

今後も定期的に、楽しみながら学べ、日常生活に簡単プラスから始められる防災学習のイベントを開催していきます。
【例】防災アナログゲーム体験会、避難所体験ゲーム、防災クッキング、防災科学実験など。



▲ 防災マルシェ2019in生駒の様子

特定非営利活動法人 うちの館

五條市近内町526番地

【事業名】

登録有形文化財「藤岡家住宅」新出文書の整理・保存・活用 事業

【補助金額】

190,000円

補助事業の実施内容

当館は、金剛山麓（奈良県側）に江戸時代から残る庄屋敷で薬商も営んでいました。昭和初期の内務官僚（佐賀県・和歌山県・熊本県知事を歴任）で、「ホトギス」派の俳人としても活躍した藤岡長和（号 玉骨）の生家でもあり、与謝野寛・晶子夫妻や南方熊楠らとの往復書簡などを多々所蔵しています。昭和52年からおよそ30年間無住であったため、主に江戸時代から昭和初期までの資料が、あたかもタイムカプセルに保存されていたかのような状態で残されていました。しかし、平成10年の台風をきっかけとし、3年半におよぶ修復を経て、平成20年より一般公開しています。しかしながら、広い館内や整理のための人員不足などが原因で未開封の文書類などの資料がいまだにあります。

令和元年5月、テレビ番組の「開かずの金庫を開ける」という企画がきっかけとなり、母屋の厨子2階部分の行

商筆筒内の文書を取り出すことができました。当該事業によりその新出文書1841通を整理しデータ化しました。また、今後の地域教育や観光にも結び付くであろう明治初期の地域の地図や、江戸時代の文書類などは、文化資源として保存しました。今後はこれらの展示やホームページでの公開も順次も行う予定です。

今後の活動に向けて

令和2年6月には奈良県の宝とも言える金剛山・葛城山・二上山の修験道である『「葛城修験」一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地』が日本遺産に登録されました。当館に残る金剛山麓に住む人々の生活の記録が、この貴重な日本遺産を更に充実させることを願っています。



▲ 新出文書の情報処理作業は米蔵で行いました

奈良県地域貢献サポート基金 ホームページのご案内

奈良県地域貢献サポート基金を通じての、社会や地域の課題解決に取り組む団体への支援制度や、具体的な支援の受け方、寄附の方法について、[奈良県地域貢献サポート基金 ホームページ](#)で紹介しています。募集中の補助事業や寄附の状況についても掲載していますので、ぜひご活用ください。

寄附をする
寄附の種類・方法について掲載しています。

助成情報
募集中の補助事業等について掲載しています。

ワンクリック寄附
クリックされたバナーの企業様より基金に寄附されます。

<http://www.naravn.jp/kikin/>

奈良県地域貢献サポート基金

検索